

けんちゅうwith!

福島県教育庁県中教育事務所社会教育だより

2024. 2. 2

第26号



子どもへの虐待をなくそう!

子ども虐待防止オレンジリボン運動

福島県家庭教育支援チーム登録団体
一般社団法人ホワイトキャンパス



須賀川市を活動拠点に今年度から活動を開始した「ホワイトキャンパス」の活動を紹介します。今回は、子ども虐待防止オレンジリボン運動へ賛同し、家庭教育支援と合わせた虐待による悲しい思いをする子を少しでも減らそうという活動です。晴天にも恵まれ、須賀川市の市民交流センターtetteは、子ども連れの家族や観光客などで賑わっていました。その中で、啓発チラシにかわいい風船を添えて、子ども虐待防止を呼びかけていました。風船をもらった子どもたちは嬉しそうにしていました。子どもたちとスタッフたちの笑顔が周りを明るく元気にする活動でした。

「子ども虐待防止オレンジリボン運動」の趣旨

オレンジリボンには、子どもたちを虐待から守りたいという願いが込められています。子ども虐待の現状を広く社会に伝え、子どもを救うために“ひとりひとりができること”を考え、行動し、虐待を受けた子どもたちが幸せになれるように、という願いが込められています。未来を担う子どもたちへの虐待が起こらない社会を実現していくために、地域のみなさんと共に推進していきましょう。



「一般社団法人ホワイトキャンパス」今後の活動予定

★ イベントの主催

障がいの有無に関わらず、子どもから大人までが参加することができ、参加者全員が五感で体験できるイベントを開催し、学びの場・居場所の提供をしていきます。

★ 自主映画上映による啓発活動

『夢見る小学校』等の上映

季節に合わせた学びを提供し、終了後には懇親会を催し、つながり作りも行います。

※須賀川市を拠点として、こおりやま広域圏、各地の公共施設等でも活動していきます。

「福島県家庭教育支援チーム登録制度」は不安や悩みを抱えている家庭を対象に、地域において主体的に家庭教育支援の取り組みを行う団体の登録制度です。



前号でも紹介しました須賀川市の「神田産業株式会社」が家庭教育応援企業に登録していただきました。「神田産業株式会社」は「**段ボールケース**」の製造を事業の中核にしている企業です。箱のデザイン設計からサンプル作成、その強度等を調べる各種試験設備など、高品質の段ボールケースを製造しています。また、**ハニリアルボード**（ハニカム構造体を用いてさらに軽く、環境にやさしく、強いダンボール）を用いて、パーテーションや家具、防音室など様々なアイデア製品を作っている企業です。そんな「神田産業株式会社」が、地域貢献・社会貢献のために実施している工場見学の様子について紹介します。



東コミュニティセンター 夏休み工場見学

**神田産業
HPより**

東コミュニティセンターの講座で、夏休みの小学生たちが見学に来ました。当日は、段ボールベットの組立、「だんぼっち」の組立体験をしました。夏休みの1ページになることができたら、素敵だなと思います。

西袋コミュニティセンター【親子わくわくタイム】の工場見学

企業説明のほか、「だんぼっち」及び段ボールベット『簡段』の組立体験を行い、段ボールの魅力を感じてもらうことができました。とても元気いっぱいに体験を楽しんでくれました。これからも地域の身近な存在になれるよう努めていきます。



須賀川市第二小学校社会科学習

須賀川市立第二小学校の4年生が工場見学に来ました。段ボールの構造やSDGsの観点からの事業について紹介しました。元気いっぱいな皆さんに会えて、暑い夏を乗り越えられました。



家庭教育応援企業の皆様へ

家庭・学校・地域に貢献している活動があればお知らせください。素晴らしい活動を紹介し、県中域内総がかりで子育てを応援していきたいと思ひます。



家庭教育応援企業「株式会社エクストエンジニア」は「**ものづくりのトップランナー**」「**24時間コンビニ工場**」を企業理念として、様々な金属をオーダーに応じ、高い技術力で加工する企業です。アウトドアオリジナルブランドも展開されています。そんな「株式会社エクストエンジニア」が、田村市立常葉中学校で実施した「キャリア教育講演会」の様子について紹介します。



1月23日(火)、常葉中学校1・2年生を対象に「キャリア教育講演会」が行われました。講師はエクストエンジニア株式会社取締役専務の渡邊輝長様です。講話では、ものづくりの魅力などを中心に、将来の進路、自分の将来像を考えるきっかけとなってもらえるようなお話をされていました。とくに、製造業が抱える問題点や会社として描く未来像などにふれながら、「常に向上心を持って、5年先・10年先を思いながら、今できること・やれることを前向きに積み上げていくことが大切」というお話が印象的でした。(引用・参考：常葉中学校 HP)

地元の企業の方からの講話を聞いて、生徒たちは将来を考える上での良い刺激、良い学びになったのではないのでしょうか。

